

令和3年度第2回魚沼市自立支援協議会全体会 議事録

日時：令和4年3月23日（水）14：00～16：00

場所：魚沼市本庁舎3階 議会会議室

出席委員：7名

（障害者団体・家族）

井口 正博 委員（魚沼市家族会）

坂内 正文 委員（新潟自閉症協会連合会魚沼地区分会ぴっころ）

（相談支援事業者）

井口 千賀子 委員（うおぬま相談支援センター）

（障害福祉サービス事業者）

大島 良一 委員（魚沼地区障害福祉組合）

佐藤 直樹 委員（社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会）

（教育機関）

水野 興司 委員（魚沼市教育委員会事務局）

細井 哲明 委員（新潟県立小出特別支援学校）

出席委員7名

水野 貴美枝 委員（魚沼市手をつなぐ育成会）

高野 久美子 委員（シュプールの会）

佐藤 俊道 委員（社会福祉法人魚沼更生福祉会）

佐藤 ひろみ 委員（社会福祉法人魚沼地域福祉会）

阿久津 太陽 委員（ケアステーション魚沼）

橘 洋平 委員（一般財団法人魚沼市医療公社）

石田 一也 委員（南魚沼公共職業安定所小出出張所）

事務局

魚沼市市民福祉部福祉支援課 小島副部長、星係長

障害児者生活支援センターかけはし 勝センター長

うおぬま相談支援センター 中沢相談支援専門員、山之内相談支援専門員

<次第>

1. 開会（星係長）

出席委員7名、魚沼市自立支援協議会設置要綱第6条第3項に基づき、令和3年度第2回魚沼市自立支援協議会全体会成立、開会。

魚沼市役所市民福祉部あいさつ（小島副部長）

新型コロナウイルス陽性者が魚沼市では毎日10人前後報告がある。3/22現在で689人の累計者数。3回目のワクチン接種が先週から開始。3/22現在で約28%の接種率となっている。7月中旬を目途に希望者全員に接種を行う予定。

来年度は第5期障害者計画の中間年となる。感染状況の悪化による影響で予定通りの活動ができていない状況だが、今後も計画に基づいて行っていきたいと考えている。

2. 報告事項

(1)今年度の活動状況 ※資料No.1、1-1、1-2、1-3 (事務局：山之内より説明)

・全体会、事務局会議、各専門部会の令和3年度の活動を報告。今年度更新した相談支援ファイルと支援者向け周知チラシ、介護保険制度への移行ガイドライン案、地域生活支援拠点等緊急時対応マニュアルの資料を当日配布し、福祉支援課星係長より説明を行っている。

○就労支援部会

日	令和3年12月13日第1回
内容	・就労支援に関する各事業所の現状と課題等の共有 ・意見交換

○療育支援部会

日	令和3年7月6日第1回	令和3年9月21日第2回	令和4年2月10日第3回
内容	・相談支援ファイルの周知チラシ案の確認 ・ファイルの内容の検討	・周知範囲及び方法の検討 ・ファイルの内容の検討	・医療的ケア児の支援体制について ※新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催を中止

○権利擁護部会

日	令和3年7月3日 映画「道草」上映会	令和3年12月15日 金銭管理勉強会
内容	魚沼市社会福祉協議会主催事業にて、障害福祉サービス事業所の利用者による作品展を開催 会場：小出郷文化会館	お金の管理方法や計画的な使い方を学ぶ勉強会を実施 (現金を振り分けて封筒管理を学習) 対象：小出特別支援学校の高等部生徒

○相談支援部会

日	令和3年8月26日 第1回	令和4年1月11日 第2回	拡大版事務局会議
内容	介護保険制度に関する勉強会 「要介護度等の決まり方、認定調査の内容について」	介護保険制度への移行について ・魚沼市版ガイドラインの検討	基幹相談支援センターについて

○地域生活部会

日	令和3年7月6日 第1回	令和3年10月6日 第2回	令和4年1月28日第3回
内容	魚沼市地域生活支援拠点等についての説明会及び意見交換	緊急時対応の事例を通したシミュレーション	地域生活支援拠点等の整備 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催を中止

(質疑応答等)

大島良一委員：相談支援ファイルについて。「発達」の文言を「成長」に変えた意図はあるのか。その経過を教えてください。

事務局：ファイルは発達障害の方を対象に作られた経緯があるが、「発達障害」ということで、支援者が保護者に渡しづらいという意見が上がった。それを参考に、発達障害に限らず、子どもの「成長」という観点で、多くの人に使ってもらうために変更した。

大島良一委員：介護保険制度への移行について。客観的な指標はどのようなイメージを持っているのか。

事務局：区分認定調査の項目の一部を使用するなどを考えているが、必ず当てはまることも限らないので、何件かシミュレーションを行いながら客観的な基準の研究を丁寧に進めていきたい。

細井哲明委員：就労支援部会と療育支援部会について。交通の不便さ解決するための方向性が現時点であれば教えてください。相談支援ファイルの使用率(手帳所持者、年齢、ライフステージ別など)がわかれば目安として教えてください。

事務局：相談支援ファイルの使用率は採っていないが、配布数はこの後説明を行う障害者計画の方に載せている。主な配布元は子育て支援センターで行っている。利用状況については調査ができていないので今後行う必要があると考えている。いくつかの通所事業所がある中で、利用者さんが事業所を選びたいというニーズがここ数年増えた来たように感じている。通所事業所が自ら送迎を行うだけでなく、他事業所に送迎を依頼して加算をとることも可能なことがわかった。例として、「かけはし」が北部地域の利用者の送迎をしているルートがあるので、それを活用して片道を担うなど、9月から試験的にまたたびの家の利用者の送迎の一部を行っている。魚沼市の地域課題として交通の不便さがあると思うので、法人間を跨いででも行き来ができるような仕組み作りのきっかけを検討していきたい。今後、工夫をして送迎をしている話などがあれば協議会の場で共有ができればいいと考えている。

井口千賀子委員：地域生活支援拠点について。今年度相談支援で対応した緊急時ケースはない。個別ケースでは家族の急病で、日中活動先の事業所が対応したケースがあった。今後、部会に出席していない事業所などへの拠点等の周知の方法などは来年度以降でどのように考えているのか。

事務局：今年度は緊急時対応マニュアルの中身の検討が主になって活動していた。これからはマニュアルの整備に拘らず、障害のある方が地域で暮らしていくためにどういった資源があるのか、利用できるのかなど、そういった支援に軸足を移していきたいと考えている。地域にある民間のサービス等も含めて地域生活支援拠点のネットワーク作りを行っていきたい。今後設置予定の基幹相談支援センターが中核的な役割を担っていくことが予想される。

既に登録している事業所と協力出来そうな事業所の意見交換の機会を今後、法人の垣根を越えて作っていききたいと思っている。

(2) 第5期魚沼市障害者計画等の実績について ※資料No.2 (事務局：星係長より説明)

- ・令和2年度末で3年の計画期間が終了。障害者計画、障害福祉計画、障害児福祉計画の達成状況、実績について報告。

《休憩と換気10分》

3. 議事

次年度の活動予定について 資料No.3 (事務局：山之内より説明)

- ・令和4年度専門部会の取組予定について説明。魚沼市では令和5年度に基幹相談支援センターの設置を予定しているため、設置検討を重点目標に掲げてスタートする。
- ・2つ目の重点目標は、専門的人材の確保、養成。医療的な支援が必要な子どもの支援体制の強化、発達障害者への支援について正しい知識や理解を持つための場の検討、権利擁護に関する各種研修会の実施及び協力を行う予定。
- ・その他、専門部会外の動きとして「スポーツ、文化振興」「障害者に対する理解、啓発」活動を行う予定。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
全体会		○										○
地域生活			○							○		
相談支援		○		○		○						
権利擁護		○			○				○			
療育支援			○				○					
就労支援					○			○				

○地域生活部会

検討テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点等機能の点検、整備 ・緊急時対応マニュアルの更新
構成メンバー	相談支援事業所、行政機関、社会福祉法人、社会福祉協議会、障害福祉サービス事業所、など

○相談支援部会

検討テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談支援センターの検討（機能の振り分けを行い、これからの相談支援体制についても検討） ・介護保険制度への移行について（ガイドラインの作成を検討）
構成メンバー	相談支援事業所、行政機関、医療機関、社会福祉協議会、など

○権利擁護部会

検討テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護に関する各種研修会の開催（金銭管理の勉強会、意思決定支援に関する研修会、虐待防止・身体拘束に関すること、コンプライアンス研修など） ・基幹相談支援センターの権利擁護機能の検討
-------	---

	・障害者差別解消支援地域協議会の活動内容及びメンバーの検討
構成メンバー	社会福祉協議会、教育機関、相談支援事業所、行政機関、専門家、など

○療育支援部会

検討テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービス、日中一時支援など児童系サービス提供事業所の連絡会を開催 ・相談支援ファイルの周知活動 ・医療的ケア児の支援体制について
構成メンバー	子育て支援センター、教育機関、相談支援事業所、行政機関、医療機関、サービス提供事業所、保健師、など

○就労支援部会

検討テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所の現状と課題等を共有(高齢化、利用率の低下、移動手段、障害特性への正しい理解など) ・障害者雇用に関する勉強会等の開催を検討(ジョブガイダンスなどの機会に繋げる)
構成メンバー	就労支援事業所(A型、B型、就労移行)、就業・生活支援センター、相談支援事業所、行政機関、ハローワーク、テクノスクール、教育機関、など

○その他(スポーツ・文化振興、障害者の理解・啓発)

検討テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興の機会に関する取組みの検討(ボッチャ等のスポーツの普及を行い、交流会などに繋げる取組み) ・障害者の芸術作品展等の開催を検討(個人、事業所等の出展)
-------	--

(質疑応答等)

大島良一委員：事業所通所の交通の不便さの話などは、公共交通機関の話し合いの機会などに話題として出してもいいのかもしれない。町トレさんなどの介護分野は車をたくさん持っていて、送迎等によく出ていると思うので、障害と高齢の分野を越えた連携や情報共有の機会が作れるといいではないか。いろいろな機会を通じて情報発信ができればいいと感じている。

細井哲明委員：進路だよりを配布し、今年度の卒業生の進路先を共有。魚沼市にも就職が決まった方がいる。学校では、ICTが進んで進路面談をオンラインで行ったりしている。専門部会等のスケジュールはどのくらい前に出るのか。

事務局：専門部会の日程は、月1回程度開催している事務局会議で決めている。全体会は一カ月前、専門部会の開催通知は2週間前には送付するようにしている。

坂内正文委員：全国的に少子高齢化、人口減少で一人暮らしの方も増えてきている現状で、障害者に限らず、連携して関わっていく必要があると感じている。

井口千賀子委員：約2年間のコロナ渦の影響で、サービス調整が必要なケースが多くあった。事業所の臨時休業などがあると家族が仕事を休んで対応するケースもあった。一方、代わりに他の事業所を使ったことで、今後の選択肢が増えたなどの声もあって良い面もあったと感じている。

水野興司委員：療育支援部会に出席し、相談支援ファイルの検討に携わった。良い物が出来たと思うので、これを活用して子ども達のために途切れのない支援を提

供していけるようお願いしたい。

4. 次期自立支援協議会委員の推薦について

令和4年3月で第8期の委員任期が終わりとなる。3/24 付けで各機関に新たな委員の推薦願いを送付予定。第9期の任期は令和4年4月から令和6年3月までとなる。4月中旬までに返信してもらいたい。

5. 委員からの連絡、情報提供等

事務局：「まちトレ魚沼」の紹介でパンフレットを配布。介護保険の機能訓練を行っている事業所だが、障害福祉サービスの基準該当の指定をとり、春から利用することができるようになる。場所は佐藤歯科医院さんの隣りに入っている。数少ない身体障害の方が利用しやすい施設なので是非ご利用ください。

井口正博委員：新規グループホームそよそよ処の紹介。大橋電機商会協の路地を進んだ所に立地。自立生活への訓練を積んで数年後に一人暮らしを目指したい方を育てたい思いがある。アパート形式で部屋ごとに台所やお風呂があって生活が完結できるようになっている。6部屋あり、将来的には一部屋を短期入所で利用できるようにしたいと考えている。4/23.24 に内覧会を予定している。

大平昌行所長：今年度新築移転を行った「またたびの家」「GHまたたび」の報告。GHまたたびは令和3年4月から定員5名、短期入所1名でスタートしている。またたびの家は半年遅れて、10月から移転。新しい事業として、お弁当の製造、配達を行っている。試行錯誤しながらようやく軌道に乗ったところ。北部地域の会社からの注文が多いが、今後は、一般の家庭まで届けたいと考えている。地域の方に利用してもらうように「地域交流スペースあちこたねえ」「カフェまたたび」を併設しているので是非活用してもらいたいと考えている。

6. 閉会

井口会長よりあいさつ